

## 五月の保育所

鈴 木 と く

<b>年中行事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○憲法記念日</li> <li>○子供の日</li> <li>○身体検査</li> <li>○遠足</li> </ul>
	<p style="text-align: right;">ましよう。</p> <p>○年少に同じ。</p> <p>○年少に同じ</p>

年少の、特別な幼児を除いて、殆ど、新しい環境になれ、大勢の友達と過せる機になつたこの月は、いよく保育のコースも順序立て、進み始められる時です。

行事主体になりがちな保育案から、本当に幼児を観察して、発達の状態を土台とし望ましい発達段階に到達出来る様、彼等の興味と要望を起させ、充して行く様な案を立てる様お互に勉強し合いたいものです。

### ◎各週のメモ

#### 第一週

- 子供の日。前日に五月生れの幼児の誕生会と一緒に、子供の日を祝いましょう。
- 児童福祉週間がはじまります催しへの参加は、幼児の幸福を基として考えたいと思います。大人福祉幼児酷使週間にならぬ様 保母もやり方を考えましょう。
- 給食を通して、好き嫌いの調査を実施してみましょう。
- 一日の保育プログラム(春と秋の分)を決定しましょう。

#### 第二週

- 休憩と、午睡のための準備行動を始めましょう。
- 体重測定の日を決めましょう。そして、衣類の着脱がどの程度

に出来ているかみましょう。

○日光浴の準備を始めましょう。

### 第三週

○手をつないで近所を散歩しましょう。列から勝手に飛び出さない練習。右側を歩く事も覚えましょう。

### 第四週

○お母さんと一緒に、又は、年令別のクラスで、近い所に園外保育を計画しましょう。

○集団行動の場合に、命令や、きまりに従う様、納得させましょう。

第三か第四週に、母の会の総会をしましょう。

## ◎各年令について

保育所の性格を、その事業の上に、しつかり握っている所は、概して一年保育児は少いと思えますが、現在の過半数は、一年保育児を多数入所させているのではないかと思はれます。前者は、過去一年の発達経過がわかっていますから、保育案を立てるのに大体の見当はつくと思えますが、新入の五歳児はどの様なことがどんな風に出来るのか全然わからないと思えます。四月中に、保育園と云う集団世界に順応する事を主体にして来たのですから、五月には、能力の度合を何かにつけて発見して行く様な保育案のたて方をしなければいけないのではないかと思えます。ですからなるべくやさしいものを、保育内容としてとり入れる必要がありますでしょう。

四歳児は、新旧、半々ですと、色々な事を観察して行く上による

しいのですが、この組は、一学期中、三歳児の時の生活経験を整理し、高度な所へ行く為の練習期間となるのではないかと思えます。例を云えば、三歳児の時に歌った同じ鯉のぼりの歌でも、この組では皆もきいて美しく、歌う人も楽しく、と云う風になりましょう。

ですから、三歳児の保育案にとり入れた事が、もしそのまゝ、とり入れられたとしても、目標が何処にあるかはつきりしていればよろしいので、同程度で異種類の材料が、豊富にあつてであれば、それにこした事はありません。新入の四歳児が、多いとすれば、矢張り材料を与えた、自由保育、或は一斉保育の中で、個々の様子を見て行くべきだと思います。

何処かの、どなたかの立案なさった保育案の、どれが、どの様に私の組の幼児に与えられるかを見きわめるためにも、この事は必要です。

一、二歳児は、仍くお母さんにとつて、実に、足手まといになるのですが、その年令を扱う所が、全国的にみて少い様ですから、それはおいて、三歳児について、すこし委く考えてみたいと思えます。

先に、各週のメモの所で、一日の保育プログラムを確立することを記しましたが、三歳児にとつては、この一日の保育プログラムが保育案の土台となるものであることを、理解して頂き度く思います。

この年令は、殆ど、生活のさせ方と、健康の為の配慮が、保育案の中心となつてい、と思えます。

三歳児の、一日の保育プログラムを立てるにしても、本当は、いろいろな家庭調査が必要となるのだと云う事だけ、頭に入れて、四月中、保育所になれさせる期間に、ノートの端に、その時間

くノメモをしておきましょう。四月にそれが出来なかつたら五月の二週間位をそれにあてましょう。

○朝何時に登園が終つた。登園した子に対して、どんな事をさせたか、それが、無理か、否か、又生活として、何をさせるべきか等。

○用便の習慣は、いつ、どの様にしてつけるか、

○集つている時間は、何分位が適當か、前後の準備時間をいれて、何分とればよいか。

○朝のミルクは何時頃が適當か、どんな風にして飲ませたらいいか。

○午前中の何時頃、疲れた様子が、どんな風にはれるか。

○どの様にして、休憩を、何分位とらせたらいいか。

○食事のためにどの様な、準備と、どんな時間の配慮をしたらいいか。

○食事のあとしまつを、三歳児は、どの程度にそして、大体どれ位の時間をかけてしたらいいか。

☆三才児一日のプログラム☆

○午睡のための準備、午睡の時の衣類の着脱の時間、睡眠の時間をどの様にきめたらいいか。

○おやつとの時間と、おやつが済んだあとの帰宅迄の時間を、どの様にするか。

○午前中の遊び、全く自由なもの、何か目的をもつて、一斉に集つてするものと、どんな時間を割ふつたらいいか。

○午後、もし遊ぶ時間があつたら、それは、どの時間に、どんな風に遊ばせたらいいか。大体これらの事を、頁を別にして、その日、その日の状態やら、気のついた事を、記録して行きますと、一応、わくの中に入れて、一日のプログラムがたちます。それをのみこんで生活をすゝめて行きますと、一日が、長くてしかたがない等ということがあります。

次に例としてあげます一日のプログラムは都会の下町の保育のものですから、そのまゝ、適用出来ない所がある事は勿論ですが、何かの参考になればよいと思います。

時間	主な生活	生活の内容	生活のさせ方	保育の心づかい
午前七時	登園はじまる	挨拶・視診・家人との連絡・持ち物をきまつた場所におく	履物のしまつを一人でする。保母や、お友達に声を出して、お早うをする。手伝われないで、持物をしまつする。	清潔と、整頓、遊びの楽しい雰囲気をつくつておく。玄關で明るく迎える。表情、顔色、元氣か等をすばやく視る。所持品の始末のし方をそつと見しておく。

八時	自由な遊び		
九時	登園終る		
九時十五分頃	朝のミルク	<p>朝の音楽をきく 鼻をかむ、手を洗う あとしまつ</p>	<p>他人の迷惑にならぬ様にきく。 こぼさない様に飲む。 コップを一定の場所に、自分で片づける。 あそびにうつる前必ず用便をする。 短時間でも全員で一緒にいられる様に。 自分から進んで遊びを選択する 自分に出来る丈の力を出させる 保母の手を加えない。 他の遊びへ移る時は、今迄のものを片づけてから移る。 緊張感をほぐす様に、静な感じの音楽をきかせる。 自分達で遊んだものは自分達で最後迄片づける。 用便の時の種々な生活作法を知らせる。</p>
九時三十分	あそび 集会或は一斉保育、或は自由保育	<p>用便 絵画、製作、リズム運動、歌う、体力を用いる遊び、お話をきく。 絵本を見る。散歩(観察も含めて) (注意) この時間の中で之等全部をするのではない。 着物のほこり、手足のよごれを清潔にする。 静に真座の上に仰臥。</p>	<p>鼻のかみ方、手の洗い方を最初から念いりに指導する。ミルクの嫌いな幼児も飲みたくなる様な心づかいをする。 長時間の集合にならない様に。 自分から興味を起す様に保育材料を適宜配置する。 助力を求めたくなる様なものを扱わない。 材料は、自由に出来る様、場所を一定しておく。 何もしないでいる幼児を見落さず、何かに手が出せる様にしむける。 休憩のために束縛される感じを与えない様、全体を休息の雰囲気にする。 はげましたり、ほめたり、片づける事も、大切な仕事のひとつと感じる様に。 順番にする事と、よごすと他の人が気持わるがる事をしらせる様な</p>
十時	休憩のしたく		
十時三十分	休憩、(十分から十五分位)		
十時四十五分頃から	遊具の片づけ方		
十一時	屋食の準備		

食事

食器に主食をうつす、給食のおかずがついた食卓から食べはじめ

午睡の準備

弁当の包を自分でほどく、カバンとハンカチのしまつを自分でする。  
お友達におかずがつく迄待つ。  
よくかんで食べる。  
箸をつかう。  
当番をする。  
食事のあとしまつ(食後のうがい)  
布団や毛布を運んで敷く。  
着換えをする。  
用便をし足をきれいに  
するお休みなさいの挨拶をする。

手の洗いうがいのしかたを、きちんと、ふざけないでする様に。

最初からしまつのし方をきちんと指導する。

新聞紙、ハンカチをたたんでしまはせる。

お箸、食器をきちんと揃えておく。

箸の使い方を正しい持ち方の方向えむかはせる。

三才児に出来る丈の事を当番でさせる。

こぼしたものは自分でひろう。弁当箱を包んで自分の場所におく。

自分の物だけでなく、お友達のものも運ぶ。

自分でぬぎ、自分でたゝむ。足を自分でふいてきれいにする。

心づかい。

手洗いや、うがいの時、余り長い時間待たせない工夫をする。

食事を楽しく感ずる様に清潔だと云う感じを深める様な工夫。

こぼさないで食べられる様な心づかい。

食事の作法を無理なく習慣づけられる様な毎日の保母のかわらぬ心やり。

エプロン、三角布、お盆、台ぶきん置等に楽しい工夫を。

大変なものは手伝いながら最後まで拾わせる。

なるべく一テーブルに揃って御馳走様が出来る様に。

布団の清潔についての心づかい。

衣類について清潔、きやすきの点しらべて母と連絡する。

一日全部を記しますと頁数もありませんから午後の方は、こんな風な調子で考えて頂く事にしましょう。

之は、もつと細に生活の内容や、生活のさせ方を書きこむ事も出来ませんが、之を土台にして、五月——八月、九——十二月と云う風に「内容と」「させ方」を、発達に依じて立案すれば、カリキュラムになりましょう。

五才児四才児の組にも、多少の時間のづれがあるだけです、各年令の一日の保育プログラムは必要です。そして、時間のづれを、どの様にスムーズに運ぶか、部屋数も少く、場所も狭い所では、年令層に無理をさせない事を主体に考えますと、保母同志が、うまく連絡をとれなければなりません。

三才児の遊びについては、この月も、この年令だけ集めて、四、五才児の様な遊び方は出来ないと思います。材料を豊富にして、各種の経験を、自由な形でさせている中に、方向を見出すと云う方法をとる様になりましょう。描く事、折紙する事つくる事、粘土をこねる事、歌うこと、音楽に合わせて体を動かす事等、とても三才児一組だけ集めて（十人位でしたらともかく）一人の保母で、覚えさせようと云う保育のし方は出来ません。

新しい事を、次々に教えなければ悪い、する事がなくなると考えずに、同じ様な遊びを繰返している中で、環境設定を高度な方向にむける様な、予定はたて、おいた方がよいと思います。五月はこの意味で、九時半頃から十時半頃迄の保育内容について、遊びの種類遊び方、遊ばせ方の土台となるものを見出して行きますよう。

保育所で、保育と併立して重要な事は、母親の育児思想の啓蒙でしよう。それと共に、一般的な教養も高めて行く事もしなければなりません。五月は、子供の日、等あつて、この為のよいきつかけがつけられます。保母として心にかけていたい母の会の方向は、

○経済的援助団体でない事

○保育をよりよく効果あらせる為に、保育への理解を深める工夫を深める工夫をする事。

○自主的な考え方に乏しい母親の集りを、自主的に活動させて、自分の子供だけでなく、地域社会の子供の事を考える様な方向にむける事。

○長い期間、根気よく、母親と立むかふ覚悟が必要な事。効果のみあせらない事。

○母親と云う、子供に対する感情の特殊性を理解し、又個々の経済的、社会的環境を理解し、同情する事から始つて、相互の理解を深め、そして目的に近づく様に工夫する事。

なるべく、園長天降り式の会の組織の方法でなくしたいと思えます。